

# 農 大

# だより

令和5年7月31日発行  
愛知県立農業大学校

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2  
Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831  
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp  
ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

令和5(2023)年度版



## 切花専攻



## CONTENTS

- 1 専攻紹介 切花専攻
- 2 新1年生入学して思うこと (前半)
- 3 研修紹介 (新規就農者希望者向け3研修)
- 4 専攻トピックス
- 5 トピックス  
終業式の開催  
農学科後援会の専攻見学・懇話会の開催  
第1回進路セミナーの開催  
生産高度化研修(作物・採種)の開催
- 6 お知らせ  
オープンキャンパス、令和6年度入学者選抜試験

愛知県立農業大学校  
公式HP



SNS

Instagram



Twitter



## 専攻紹介

## 切花専攻

切花専攻には、全国一の花の生産額を誇る愛知県の未来を担う学生12人（2年生7人、1年生5人）が在籍しています。日々、“少数精鋭”を合言葉に、花の魅力を身近に感じながら、明るく楽しく実習に取り組んでいます。

学生は3つの部門（キク班、バラ班、洋花班）に分かれ、キク、バラ、ヒマワリ、ストック、カーネーション、ケイトウ、マリーゴールドなど多様な品目・品種の花を栽培しています。5棟の温室（延べ面積1,500m<sup>2</sup>）と露地圃場（500m<sup>2</sup>）で、年間およそ6万本の切花を栽培します。

栽培した切花は、毎週水曜日の実習販売や毎年12月に行われる農大祭で販売しています。可愛いラッピングを施したミニブーケや、キク、ケイトウ、ヒサカキなどを組み合わせた仏花が人気です。また、入学式や卒業式の壇上の会場装花は、日ごろの実習の成果を存分に発揮して学生が作成し、式を華やかに彩っています。

実習販売の様子



## キク班



需要期（物日）にあわせた電照栽培を基本とし、露地で小ギクも栽培しています。県育成品種の試作も行っています。品種の数は年々増えており、今年度は21品種のキク・小ギクを栽培しています。

【栽培品種】  
輪ギク、スプレーギク、小ギク



## バラ班



ロックウール培地を用いた養液栽培を行っており、アーチング方式や改良切り上げ方式で管理しています。改植の時にはカタログを見ながら自分たちで品種を選びます。今年度は、紫色のスタンダードバラ「ミスティレイン」を導入しました。

【栽培品種】  
スプレーバラ、スタンダードバラ



## 洋花班



洋花班では一年を通して様々な品目の花を育てるため、そのぶん多くの知識や経験が身につきます。  
育ちすぎず扱いやすいヒマワリの栽培方法の確立や、ストックの八重率向上を目指してプロジェクト課題に取り組んでいます。

### 【栽培品目】

ヒマワリ、ストック、カーネーション、ケイトウ、マリーゴールド、ペニバナ、スターチス、ハボタンなど



## 収穫・出荷



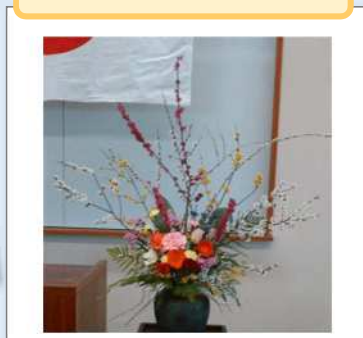
毎日の実習は、栽培した花の収穫から始まります。  
月・木・金曜日には、市場出荷のため、収穫した花を切り揃えて束にしていきます。多い日は、1日1,500本の花を出荷することもあります。



花き市場のバックヤードを見学



入学式での壇上の装花



ある日の実習販売



農大祭で恒例の花販売



仲良し1年生



フラワーアレンジメント演習



## 特集

## 2023新入生 農大に入学して思うこと(前半)

2023年度に入学した新1年生から、各専攻一人ずつ、「農業大学校に入学したきっかけ」や「卒業後の進路」などを聞いてみました。7月号と8月号に分けて紹介します。

## 《新1年生》

**長縄 慎介**【鉢物・緑花木専攻】…県内農業高校出身  
**石川 稜**【切花専攻】…県内農業高校出身  
**岸 昂太**【作物専攻】…県内農業高校出身  
**首藤 理杏**【果樹専攻】…県内普通高校出身  
**遠藤 飛鳥**【露地野菜専攻】…県内農業高校出身  
**田中 快**【施設野菜専攻】…県内普通高校出身  
**中村 花和子**【酪農専攻】…県外普通高校出身  
**高橋 鼓太郎**【養豚・養鶏専攻】…県内普通高校出身

## Q 農業大学校に入学しようと思ったきっかけは？

● **長縄 慎介**【鉢物・緑花木専攻】

小さい頃から植物が好きなので、進学するなら農大がいいと思い決めました。

● **石川 稜**【切花専攻】

幼い頃から祖父母が農作業する姿を見ていて、自分も農業をやりたいと思い、農業を学ぶために農大に入学しました。

● **岸 昂太**【作物専攻】

学生が主体となって実習をするという学校方針が、自分の成長につながると思ったから農大に入学しました。

● **首藤 理杏**【果樹専攻】

高校の進学実績に農大があったことや、農家である祖父母の影響を受け農業に興味があったことから、農大への進学を決めました。

● **田中 快**【施設野菜専攻】

将来、農業関係の仕事につきたいと思い、4年制大学と比較し、実践的な学習ができる農大の方が将来のためになると思い入学しました。

● **遠藤 飛鳥**【露地野菜専攻】

父が農業高校出身で私も同じ高校に入学し、高校で座学や実習を通して農業の面白さを知りました。もっと深く学び、知識、技術を習得したいと思ったため農大に進学しました。

● **中村 花和子**【酪農専攻】

私は県外ですが、私の兄の知り合いに愛知農大を卒業した人がいて、愛知農大はすごくいいと絶賛していたからです。

● **高橋 鼓太郎**【養豚・養鶏専攻】

僕は小学生の頃から動物に関わる仕事がしたいと思っていました。通っていた高校で養鶏をしていたので、養鶏に興味を持ち、名古屋コーチンが有名な愛知県にある農業大学校を選びました。

## Q 寮の生活はどうか？

### ●長縄慎介【鉢物・緑花木専攻】

部屋の音はあまり聞こえないけど、廊下や談話室の話し声は響きます。お風呂の湯船が大きいところがよかったです。



### ●石川 稜【切花専攻】

友達という時間が長くてすごく楽しいですが、疲れるときもあります。

### ●岸 昂太【作物専攻】

きれいで一人部屋のため、とても生活しやすく、寮の中でも人と関わることが多いため、友達がたくさんできて楽しいです。



### ●首藤理杏【果樹専攻】



とても楽しい。友達と一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったり、部屋で遊んだりしています。誰かと一緒にいるので寂しくありません。みんなと一緒にいる時間が長いので、学生同士すぐに仲良くなれます。

### ●田中 快【施設野菜専攻】

友達の部屋に椅子とコントローラを持ち寄り、棟が違う友達や専攻が違う友達ともゲームをして楽しんでいます。寮の食事は、ご飯のおかわりが自由で美味しいので最高です。

### ●遠藤飛鳥【露地野菜専攻】

部屋の掃除や洗濯を自分で全てやらなければいけないので大変ですが、周りの友達と過ごす時間が多いので、毎日がとても楽しいです。

### ●中村花和子【酪農専攻】

寮の建物が新しいので部屋が綺麗で快適です。試験前は談話コーナーでみんなと勉強会を開くことができます。



### ●高橋鼓太郎【養豚・養鶏専攻】

試験が近い時は同じ専攻の友達や同じ寮のエリアの人と集まって勉強をしたり、暇な時はみんなでゲームをしたりなど楽しく過ごせています。

寮生活をする事で昼夜逆転など乱れていた生活リズムも元に戻り気持ちよく過ごせています。

## 研修紹介

## 新規就農希望者向け3研修

農業大学校では、新規就農希望者向けの長期研修として、「ニューファーマーズ研修」、「農業者育成支援研修」、「農業技術研修」の3研修を実施しています。

いずれの研修も履修・訓練時間の8割以上を受講すること、修了時には就農経営計画書を提出、一部研修では発表することが修了要件となっています。そして、これら研修修了者の多くが県内各地で就農しています。

今回は、これら3研修の実施状況を紹介します。

## ○ニューファーマーズ研修

ニューファーマーズ研修は、愛知県内で農業経営を目指す方を対象としており、今年度は4月20日に研修をスタートしました。令和6年2月22日まで約10か月間実施します。農業大学校で農業経営に必要な基礎知識を学ぶほか、先進農家のほ場で実習を行うことで栽培技術を修得します。

講義や実習に加え、就農経営計画を立て発表することで、自らが目指す農業経営の展望を具体化させます。

本研修はJAあいち三河のいちご塾・なす塾、JA西三河のイチゴスクール、豊田市の農ライフ創生センター等の産地の各JAと連携し担い手の育成、確保に繋げています。

<研修生の主な栽培品目及び就農予定市町村>

品目/地域								(単位:人)	
	茶	桃	イチゴ	ナス	キャベツ	ペコロス	露地野菜	総計	
一宮市			1					1	1
東郷町							1	1	1
知多市						1		1	1
大府市			1				1	2	2
岡崎市	1		1	2			1	5	5
安城市			1					1	1
西尾市			5					5	5
幸田町			1					1	1
豊田市		2					1	3	3
田原市					1			1	1
総計	1	2	10	2	1	1	4	21	21

<受講生分布図>



## ○農業者育成支援研修

農業者育成支援研修は、主に農業以外の分野から新規就農を希望する方を対象に、就農に必要な栽培に関する基礎的な技術や知識を修得していただくことを目的に実施しています。

今年度は、例年より約1か月遅れの6月14日スタートとなりましたが、来年1月19日までの約8か月間、露地野菜栽培実習や講義に取り組みます。

今年度の受講生は6名と少数ですが、農業経験のある人ない人、農地のある人ない人、早期退職して参加した人、他の仕事を続けながら受講する人など多様なメンバーがそろいました。

研修内容は、露地野菜を対象にした週3日（夏期は4日）の実習と講義で、農業を基礎から学びます。実習は共同実習と個別実習があり、午前中は全員で共同ほ場の管理を行い、午後は各自が責任を持って管理する個別ほ場で野菜を栽培します。個別ほ場では、自分が作りたい野菜を作れるため、担当職員の助言のもと各受講生が創意工夫して野菜作りに取り組んでいます。



キュウリのネット設置



ナスの整枝

## ○農業技術研修

農業技術研修は、離職者を対象とした公共職業訓練に位置づけられた研修で、岡崎高等技術専門校の「愛知県雇用セーフティネット対策訓練農業技術研修科」として本校で実施しています。この研修では、農業法人等への就職や新たに農業を始めるために必要な農業の基礎的な知識・技術の修得を目的としています。

今年度は、5月9日に開講式を行い、来年1月29日までの9か月間、27名が露地野菜を中心とした栽培実習や講義に取り組めます。

研修カリキュラムは、月曜日から金曜日まで週5日みっちり組まれており、うち木曜日は講義、ほか4日間は実習を行います。実習では、ナス、トマト、キュウリなどの夏野菜、ハクサイ、ダイコンなど秋冬野菜と小菊の栽培に取り組み、水曜日には本校学生の実習販売日に合わせて、収穫物の販売も体験します。

また、講義や実習以外にも校外学習として、各品目の先進農家や本研修の修了生で自営就農を果たした先輩農家を訪ね、お話しを伺ったり農産物直売所の視察などを行っています。



ジネンジョ種芋の催芽処理



校外学習 イチジクスクール見学の様子

# 専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

## ○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	8 (2)	5 (1)	9 (2)	15 (5)	14 (7)	15 (3)	15 (6)	10 (3)	91 (29)
2年	3 (1)	7 (2)	5 (1)	10 (0)	15 (7)	13 (3)	9 (6)	8 (4)	70 (24)
計	11 (3)	12 (3)	14 (3)	25 (5)	29 (14)	28 (6)	24 (12)	18 (7)	161 (53)



### 牛の毛刈りをしました！

7月4日に改良同志会の方を講師にお招きして牛の毛刈りをしました。

牛の毛刈りといっても、ただただ刈ればよいものではありません。細く見せたいところは残す毛の長さは短く、ふっくら見せたいところはあえて毛刈りをせず整えることもあり、刈り方によってはかっこよくもみえるし、ぶさいくにもみえてしまいます。毛の色によっても刈り方を変えることもあり、牛に合わせた毛刈りをするにはすぐには習得するのは難しいものです。

今回の毛刈りで1年生の多くが興味をもってくれました。せっかくなので暑さ対策もかねて刈りましょう。



### 校外学習で、養鶏の6次産業化について学習しました！

養豚・養鶏専攻は、7月10日に6次産業化に取り組む養鶏農家に行ってきました。

養鶏農家では、防疫服にブーツカバーを履いて万全な衛生対策をした後、飼料庫、販売堆肥庫及び堆肥の製造過程を見学させて頂きました。また、自農場で生産した卵を用いたパンやプリンを販売している直売所も見学させて頂き、商品に対するこだわりやお客様に喜んでもらえる商品開発の苦労などをお話いただきました。

プリンやアイスクリームはとてもおいしく直売所はとてもおしゃれな雰囲気、商品や農場のイメージアップにつながっていると感じました。







## 果樹

### 農大の卒業生から新規就農のノウハウを学ぶ！

7月13日、果樹専攻では、校外学習として、小牧市のブドウ農家と東谷山フルーツパークを訪問しました。

小牧市のブドウ農家は、7年前の卒業生で、今年4月から既存の農家のほ場を引き継いで新規就農に至った先輩です。新規就農に至るまでの経緯や、農地を引継ぐために取り組んだこと等、包み隠さず教えてくれました。学生からは積極的に質問があがり、かかった費用や地域農家とのコミュニケーションの大切さを学ぶと共に、先輩の行動力の高さに驚いていました。

これから就農を目指す学生にとっては特に有意義な学習になりました。



## 作物

### 校外学習で稲麦大豆の生産・加工を学ぶ！

作物専攻の2年生5名が校外学習として、大豆の加工業者と岡崎市の大規模農業法人を訪問しました。価格は高くても国産大豆を使用した豆腐やこだわりの加工品の生産や堆肥を活用した環境に優しい農業について学ぶことができました。活発に質問もでて、良い刺激となったようです。



## 鉢花・緑花木

### 県外学習へ行きました！！

鉢緑専攻の2年生は、東京へ県外学習に行きました。視察先の太田市場では花きの流通について学び、もう一つの視察先である花きの小売店では、商品のディスプレイや販売方法を学びました。

この県外学習は、2年生にとってとても刺激になり、これからは、自分たちで新たなアイデアを取り入れて直売や出荷でも工夫したいと考えています。





## 冷蔵庫が新しくなりました！

切花専攻の生命線ともいえる重要設備のうちの一つに、プレハブ冷蔵庫があります。収穫した切花を新鮮なまま保管したり、キクの挿し穂を冷蔵したりするのに使っています。

今までの冷蔵庫は老朽化が進んでおり、何とか使えはするものの、いつ使用不能になってもおかしくない…ということで、この度、古い冷蔵庫を新しい冷蔵庫に交換する工事を行いました。

庫内の広さは変わっていないはずですが、工事前に冷蔵庫内にあったものを整理したためか、前より広がったように感じます。学生たちは、広くてきれいな冷蔵庫に喜んでいましたが、この広さを堪能できるのも今のうちだけ。もうすぐ、お盆出荷用のキクで庫内が埋まる予定になっています。



## アールスメロンの収穫が間近！！

7月末から8月上旬にかけてアールスメロンの収穫を予定しています。今年は雌花の開花期に雨の日が多くてなかなか着果しなかったり、かん水不足のため小玉になってしまったりと苦労しました。

そんな中でも、果実の表面がきれいなネットに仕上がったものもあり、収穫まではラストスパートです！甘くておいしいメロンができることを期待しています！



## イチゴを加工して最後まで楽しむ！

露地野菜専攻では、去年に続き今年もイチゴジャム作りをしました。イチゴの収穫、販売は6月中旬頃まででしたが、その後も小さいもの、形が悪いものは沢山できます。そのような果実を使ってジャム作りをしました。1日かかりで沢山ジャムを作ったので、学生は疲れていましたが、イチゴをふんだんに使ったジャムは、味が濃く美味しいと満足している様子でした。



## トピックス

### 終業式 夏休みへ

7月21日（金）終業式が行われました。

石橋校長からは、新年度からの学生の様子や、学生に向けた励ましの言葉がありました。また、夏休みの過ごし方について、交通事故などに注意して生活し、学生自身が成長する期間となるよう期待する講話がありました。

専攻の当番実習、資格取得講座など、引き続き学校で勉学等に励む学生もいますが、多くの学生は帰宅となります。9月1日（金）の始業式には、また元気な姿で会えることを楽しみに待っています。



石橋校長の講話

### 農学科後援会 専攻見学・懇話会が開催されました

7月19日（水）に後援会主催で専攻見学及び懇話会が開催されました。

当日は、学校からの近況報告や、普段、見ることができない校内での学生の様子を見学し、懇話会では教職員も含め後援会会員同士の親睦を深めました。

また、この日は学生による実習販売も行われ、その頼もしい姿に大いに成長を感じ取った様子でした。



農大から近況報告説明



作物専攻の見学



果樹専攻の見学

## 第1回進路セミナーを開催

7月11日（火）、1年生全員を対象に今年度第1回目の進路セミナーを開催しました。

今回は、就職活動の心構え、職業選択のための準備、正社員と非正規労働者、就職活動の流れなどについての講義としました。講義後には「進路について真剣に考えていきたい」や「早めに準備することが大切と感じた」との声が聞かれました。

進路セミナーは、1年生を対象に、今後2月までに計5回開催する予定です。

## 生産高度化研修(作物・採種)の開催

7月4日（火）、農業大学校において「優良種子生産技術」をテーマに開催し、採種農家及び関係機関74名の参加がありました。この研修会では、農研機構作物病害虫防除研究領域の芦澤武人主席研究員に「イネ稲こうじ病対策について」、また、農業総合試験場病害虫研究室の石川博司



主任研究員に「イネカメムシ防除対策について」講演していただきました。最後に、米麦振興協会の藤井潔技術主幹より、最近発生した採種上の問題点について説明していただきました。

講演後の総合質疑においては、活発な質問が出されました。終了後のアンケートでは、最近問題となっている病害虫の対策について分かりやすく解説していただけてよかったと、内容を評価する意見が多く出されていました。

## お知らせ

### 愛知県立農業大学校 オープンキャンパス 2023 開催

下記の予定で開催します。本校の学生との交流の他、学生寮の食事も体験できますので、農大への入学に関心がある方はぜひご参加ください！

**第4回 2023年8月 1日（火）**

**第5回 2023年8月22日（火）**

※ 午前9時50分～正午

※ 事前に参加申し込みが必要です。

※ 食事体験（正午から）は、希望者のみで有料となります。

（内容）①農業大学校の概要説明、②キャンパスツアー（各専攻施設等の見学）、  
③在校生との交流、④受験相談等（希望者のみ）、⑤食事体験（希望者のみ）

※詳細は本校ホームページを御覧ください。

## 愛知県立農業大学校

# 令和6年度 入学者選抜試験

### ●特別推薦入学試験

出願期間 9月12日(火)～9月15日(金)  
試験日 9月29日(金)  
合格発表 10月6日(金)  
試験科目 面接試験  
募集人員：20名程度



### ●一般推薦入学試験

出願期間 9月28日(木)～10月13日(金)  
試験日 10月30日(月)  
合格発表 11月10日(金)  
試験科目 小論文（800字以内）、面接試験  
募集人員：定員100名のうち2/3程度



### ●一般入学一次試験

出願期間 11月9日(木)～11月24日(金)  
試験日 12月8日(金)  
合格発表 12月20日(水)  
試験科目 数学Ⅰ、小論文（800字以内）、面接試験  
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

・詳細は、本校ホームページを御覧ください

週刊  
村上佳菜子の  
**愛ちっち**  
WEEKLY AICHITCH

**農業** を学びたい学生 **募集中!**

**愛知県立農業大学校**

by 可見瑞希

「愛ちっち」  
とは?

村上佳菜子が代表をつとめるフリーペーパー「愛ちっち」。  
現役大学生達が愛知県の「今話題」取材して紹介していきます。



KANAKO  
MURAKAMI  
WEEKLY  
AICHITCH

愛知県立農業大学校は、2年間の全寮制の専修学校で、  
広大なキャンパスに **約200人の学生** が8つの専攻に分かれて  
**農業** を学んでいます! 7月と8月には校内の見学や受験相談が  
できる **オープンキャンパス** を開催しています!!

**POINT!** 次世代の  
**農業** の担い手を育成!!

今回は **露地野菜** と **酪農** を専攻している学生  
さんに話をそれぞれ伺いました。 **スイートコーンの**  
**栽培** や **牛のえさやり** の様子などを見学し、  
**農業** について **実践的に学べる魅力的**  
**な場所** だと感じました!!



発行日: 令和5年7月13日



「村上佳菜子の週刊愛ちっち」 毎週木曜日 よる9:54~10:00 東海テレビにて放送中!

